

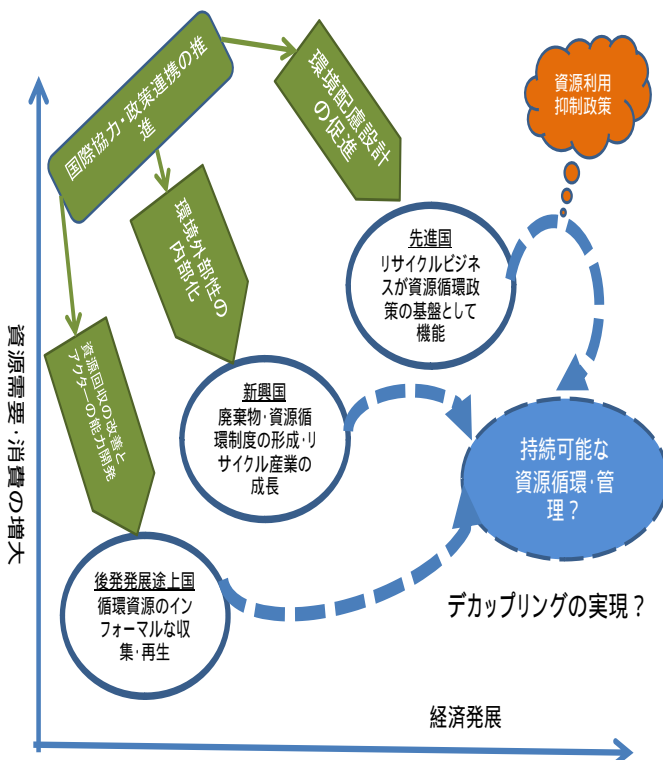
# 第8章: 持続可能な資源循環及び管理に向けた 国際連携のための政策枠組

## Chap. 8: Policy Framework for International Collaboration towards Sustainable Resource Circulation and Management in Asia

### 主要メッセージ

- 持続可能な資源循環と管理は、地球規模の資源危機を回避する上で、**国際連携が不可欠な課題**である。
- **世界の工場として、資源需要をリードしているアジア**では、持続可能な資源循環と管理のニーズが特に高まっている。
- 途上国では 3R 政策や資源循環システムの発展が始まっている。しかし、運用面での課題も多い。**制度面での能力、産業面での能力、そして循環資源市場の安定性を確保**する必要がある。
- 各国の直面している廃棄物と資源管理の課題は異なるため、各国の実情に即した**段階的アプローチ**は、資源効率的な経済の推進に貢献すると考えられる。
- **一か国による単独アプローチは、意図せざる経済影響や、越境的な環境問題を引き起こす**可能性がある。そのため、**国際政策連携による政策の調整と協調が極めて重大**となる。
- 資源効率の評価項目に基づいた物質消費及び環境汚染の少ない社会経済発展プロジェクトを奨励するために、**持続可能な資源管理に関する国際的な資金メカニズムを提唱**する。

## 段階的アプローチの提案 Proposal of Phased Approach



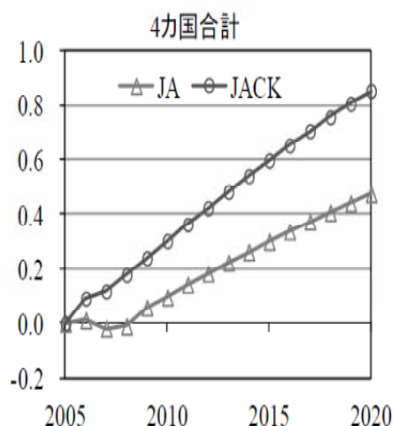
段階	政策コンセプトの例
段階 1: 資源回収の改善とアクターの能力開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インフォーマルセクターと連携するための中間組織</li> <li>●資源回収のための産業育成</li> <li>●リサイクル産業への補助金</li> <li>●優良リサイクル業者の認定・認証</li> </ul>
段階 2: 環境外部性を生産と消費に内部化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拡大生産者責任 (EPR)</li> <li>●ゴミゼロ工場</li> <li>●エコ工業団地/エコタウン</li> <li>●循環資源の品質基準</li> <li>●グリーン公共排出 (公共施設からの循環資源の適正処理・リサイクル施設への優先的排出)</li> <li>●製品買い替えキャンペーン</li> </ul>
段階 3: 環境配慮設計の推進及び 3R に関連した新たなビジネスモデルの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サプライチェーンのグリーン化</li> <li>●グリーン購入</li> <li>●使い捨て商品の禁止</li> <li>●天然資源税</li> <li>●拡大生産者責任から個別生産者責任へ</li> <li>●地産・地消</li> </ul>
国際連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●気候変動便益</li> <li>●持続可能な資源管理・循環に関する多国間資金メカニズム</li> <li>●資源利用抑制に向けた政策連携</li> </ul>

# 国際連携の必要性

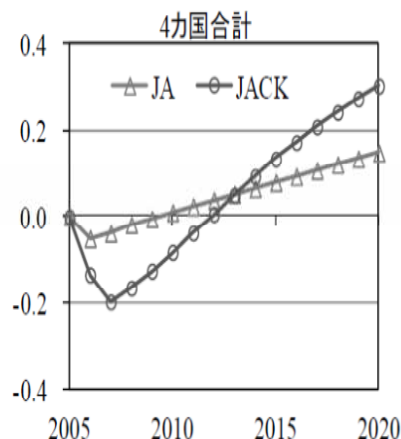
## International Collaboration is necessary

- 物質の採掘からリサイクルまでの**総環境負荷を削減**することを促す**強力な政策の導入**も必要。**グリーン経済セクターへの強力な投資**と言ってもよい。しかし、こうした国内政策からの**意図せざる負の越境的効果を回避**するために、アジアにおける政策連携・協調に向けた国際的な努力を継続することが不可欠。
- モデル分析を活用し、**日本の資源消費量(鉄鉱石消費を事例とした)を10%減らす政策**を導入するのに、**日本単独で行う場合、日・豪の連携、日中韓豪の4カ国連携**の効果を比較し、上記を確認。

政策連携による4カ国合計実質GDPへの影響(%)



政策連携による4カ国合計CO<sub>2</sub>排出量への影響(%)



### 将来を見据えた国際資源管理基金の創設など

#### Proposal of International Fund for Sustainable Resource Management

- 前払いされたリサイクル料金やリサイクル基金の一部、例えば中古製品として輸出された部分などをプールすることで国際連携へ向けた基金化**を提案。
- アジア発展途上国も、リサイクル料金の徴収、リサイクル基金制度の導入を検討しており、**各国がこうした基金の一部を国際連携に拠出すれば、リサイクル・資源生産性国際基金**を創設することも可能。

### 本章の政策提案

#### Summary of Policy Proposals in the Chapter

	政策提案
途上国・各国レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策・戦略の策定段階から見直し段階までの<b>関係者の関与</b></li> <li>EPR原則に基づいた<b>国家資源循環基金</b></li> <li><b>循環資源処理・リサイクル施設</b>の体系的な整備</li> <li>効果的な需給調整機能を持つ<b>リサイクル経済の構築</b></li> <li>資源循環基金と<b>リサイクル業者の認証の仕組み</b>との統合</li> </ul>
国際レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>段階別アプローチ</b></li> <li>資源効率的な製品・サービスに関する<b>国際ガイドライン</b>の開発</li> <li><b>開発プロジェクトの査定</b>に、汚染防止を伴う資源効率・生産性配慮を反映</li> <li>先進国主導の<b>真のグリーン経済モデルの構築</b></li> <li>持続可能な資源管理に関する<b>国際基金</b></li> </ul>